

令和5年度 学校評価（学校評議員）学校関係者評価

1 開かれた学校づくり

重点事項	P T Aや学校評議員など関係団体等との連携
内容	①教育方針や特色ある教育活動、学校評価などについての学校評議員の意見を把握し、教育活動の改善を進める。 ②様々なP T A活動やホームページ等を活用した広報活動を通して、生徒の状況や教育活動の現状について情報発信し、理解や協力を得る。 ③西高会・輔仁会・振興会・後援会などの支援団体から、生徒の教育活動に対する支援体制を確立する。
具体的な取組	①視聴覚機器・I C T機器のスムーズな運用、旅行的行事（宿泊研修、見学旅行、遠足等）の見直し ②Google クラズルームや緊急メールシステム等の安定運用およびペーパーレス化、西高ウェブページの運用や学校見学会を柱とした効率的な情報発信 ③支援団体との連携を密にして、キャリア探究学習をはじめとする教育活動の充実・発展、西高グローバル・エデュケーションの支援・協力
ご意見・ご要望等	③●キャリア学習、国際交流、部活動支援等、輔仁会（同窓会）・西高会と学校とのコミュニケーションが充実していた。更に具体的な取り組みがあれば生徒への支援も含めてお手伝いしたい。 ●これからも西高会、輔仁会（同窓会）、P T Aの連携で、生徒への補助事業、教育活動を推進してほしい。

2 生徒の資質・能力の伸長を図る学習活動の充実

重点事項 1	多様で質の高い「深い学び」を引き出す授業等の実施
内容	○各教科・科目における「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に意味や価値を創造したりすることに向かう「深い学び」の授業を展開し、可搬性、活用可能性、持続発展性が高く実生活で活用できる学びを実現する。
具体的な取組	①I C T機器を利用した学習指導 ②公開授業を含めた教科の枠を越えた効果的な授業研究の在り方についての工夫・改善、西高スタンダード（深く、しっかりした学び）の継続・発展
ご意見・ご要望等	①●オンライン、オンデマンドの使い分けなど、I C Tについては効果を検証しながら、よりよい方法を見極めてほしい。 ●端末については、コストの問題もあると思うが、生徒に使い勝手の良さなどを尋ねて検討したらどうだろうか。
重点事項 2	授業と個別学習を有機的につなげた学習体制の確立
内容	○学校における教育活動と家庭等における個別学習の特長を互いに生かしながら生徒の資質・能力の伸長を図る。
具体的な取組	①B Y O D 2年目となり、I C Tを活用した授業等の学校生活の充実につなげる西高スタイルの構築 ②学習効果を高めるI C T活用の研究と検証を進めるため、校内研修を含めた研修体制の充実 ③進学講習の実施
ご意見・ご要望等	③●進学校として、もっとも充実しなければならないと思う。 ●講習については、まず、教員の時間的な負担、教員間の業務負担の格差に十分留意して進めてほしい。 ●部活動の大会と模擬試験の日程の重なりは調整できないか。 (関連して、「働き方改革」について) ●全国的に授業以外に様々な業務を抱えているため、教員が疲弊している。簡略化できることは何かを模索して進めてほしい。教員の健康維持が第一である。 ●教員の負荷、時間外労働については、十分に調査して、無理のないように、効率的に業務が行えるよう検討してほしい。

3 リーダーシップ教育の推進

重点事項	自主的・自発的な活動の充実
内容	○生徒会活動やホームルーム活動、部活動などの自主的・自発的な活動を通して、よりよく解決するために課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践できるリーダーとしての資質・能力を育成する。
具体的な取組	①西高祭の実施、今後の在り方の検討 ②部活動の改廃の検討
ご意見・ご要望等	①●西高祭は生徒、保護者のみならず、地域や進学を考えている中学生にも魅力的なものであってほしいと思う。西高らしさを大切にしてほしい。 ③●部の改廃等が進められ、小中学校では部の地域移行に伴い、外部コーチによる指導が始まった。今後、高校でもそのような取り組みが始まると思うが、地域（学校）に貢献したい企業もあるので、学校側と連携をとって進めてほしい。 ●部活動は今後、外部指導者や部活動指導員等も検討する時期ではないか。積極的に外部の資源や卒業生を活用してはどうか。 (その他) ●行事は西高らしさの象徴でもあり、大切にしていってほしい。

4 キャリア教育の推進

重点事項 1	探究的な教育活動の充実
内容	○課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現のプロセスを重視した教育活動を通して、課題発見・解決力、情報収集力、論理的思考力、コミュニケーション力、表現力などを身に付け、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育む探究活動を充実させる。
具体的な取組	①総合的な探究の時間の充実 ②総合的な探究の時間やキャリア探究学習のねらいの明確化を図り、プロセスを適切に評価するため、ルーブリックの活用など、評価方法の研究や検証 ③支援団体との連携を密にして、キャリア探究学習の充実・発展
ご意見・ご要望等	①～③●全学年で実施されているが、探求学習は本人の進路選択に影響を与えていることを実感しており、生徒のキャリア形成にとって大変有意義な取り組みであると感じている。特に1年生のキャリア学習は輔仁会（同窓会）が受け皿となっているが、企業側の評価もかなり高いものがある。今後も協力を依頼する企業や日程等の具体的な調整を図りながら継続してほしい。
重点事項 2	高等教育機関等との連携
内容	○大学の専門的な学びや教育研究にふれることを通して、職業観や勤労観を高めるとともに、主体的に科学を究め、生徒の学習意欲や進路意識を高めることを目指した高等教育機関等との連携を進める
具体的な取組	①生徒の学習へのモチベーションや進路意識高揚のため、計画的な実施 ②北海道大学研究室訪問など、理系・文系に問わず、あらゆる学部との連携を強化した内容の充実
ご意見・ご要望等	②●大学側にもメリットがある活動なので、範囲をより広げて活動を進めるのが良い。